

全国高校総体重量挙げ競技

芦渡君(3年) 85kg級で準V

全国選抜4位、東北選手権

優勝の芦渡翔君(久慈工3年)が8月7日、大阪府羽曳野市総合スポーツセンターで行われた全国高校総合体育大会(通称近畿インターハイ)で、頂点まであと一步の準優勝に輝きました。

スナッチ113kgで3位、ジャーク150kg(県高校新)で2位、トータル263kg(同)で2位と、全国で念願の

メダルを手に入れました。

芦渡君は先月末に練習中にひざを痛め、一時はジャークで125kgを挙げられない状態でしたが、それでもメダル獲得を考え練習を重ねました。

吉田新一監督は「ジャーク150kgは県(高校)で誰も挙げたことのない重さで、二人の目標でした。五分五分の選択でしたが、成功して良かったです」と勝負強さをたたえました。

芦渡君は「いつもの大会より緊張しました。不安はありましたが、今までやってきたことを信じて臨みました。正直、成功してホッとしました」と話していました。

銀メダルを胸に報告

8月23日には、久慈工業高校の久慈和男校長、吉田監督、芦渡君の3人が役場を訪れ、深渡宏村長、熊坂伸子教育長に、重量挙げでの快挙を報告

しました。

芦渡君はスナッチ銅、ジャーク銀、トータル銀の3個のメダルと賞状を深渡村長らに示し、「銀メダルを取りました。今まで練習してきたことを信じて力を出し切りしました」と笑顔で報告しました。

深渡村長は「これからも目標に向かって頑張ってください」と激励。「広報ふだい」7月号の表紙を飾ったプレー写真と金一封を贈りました。

ミニ国体でも優勝飾る

8月26日、宮城県で行われた東北総合体育大会で、少年85kg級に出場した芦渡君はスナッチ110kg、ジャーク140kg、トータル250kgで優勝を飾りました。

左ひざを痛めて近畿インターハイは惜しくも準優勝でしたが、それでも全国の力を見せつけました。注目の国体は10月8日、兵庫県明石市で行われます。



深渡宏村長から写真と金一封を受け取る芦渡翔君

水しぶき上げ力泳

2回 村水泳記録会



ゴールを目指し懸命に力泳する児童

村教委主催の第2回水泳記録会が9月3日、村B&G海洋センタープールで行われました。

参加者は23人と少なかつたのですが、子どもたちはビート板キックや自由形で、25m先のゴールを目指して力泳。お母さんらもプールサイドで「頑張ってー、頑張ってー」と声援を送っていました。各種目の1位は次のとおりです。

敬称略

▽1年生女子25mビート板キック①赤坂日菜子(堀小)

- 31秒56▽同男子25mビート板キック①森田賢(普小) 37
- 秒06▽2年生女子25mビート板キック①赤坂琴美(同) 36秒
- 06▽同男子25mビート板①太田倫太郎(同) 54秒21▽3年生女子25m自由形①森田真衣(同) 31秒26▽4年生女子25m自由形①澤口未来(同) 28秒41
- ▽同男子25m自由形①日沼春稀(同) 53秒02▽5年生女子25m自由形①佐々木愛莉香(同) 26秒62▽同男子25m自由形①中山翔太(同) 32秒11▽6年生女子25m自由形①太田杏奈(同) 23秒79